

学校教育目標	創りだせTomorrow わたしはChallenger ~自らの思いや願いの実現をめざして、ねばり強く学び続け、心豊かに明日を創りだす子~ ○ 自ら学び続け、自分の考えを深める子を育てます。(知) ○ 自然や人との豊かな関わりの中で、お互いのよさや違いを認め合える子を育てます。(徳) ○ 健やかな心と体をつくり、自分や人の生命を大切にすることを育てます。(体) ○ “まち”のひと・こと・ものを大切に、共に生きる子を育てます。(公) ○ 社会の変化に関心を持ち、柔軟に対応できる子を育てます。(開)					
	学校概要 創立 149 周年 児童生徒数: 435 人	学校長 中山 光恵 副校長 池長 健吉	2 学期制 一般学級: 12 個別支援学級: 3	主な関係校: 金沢中学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力 <コミュニケーション能力> <他者を思いやる力> <協働して課題解決する力>	金沢中 ブロック 金沢中学校 文庫小学校 八景小学校 釜利谷東小学校	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組 ○「コミュニケーション能力」と「課題解決のために協力する力」の育成 ○他人を思いやり、地域社会に貢献できる児童生徒の育成 ・合同授業研究会や児童生徒指導上の意見交換 ・行事等を通じた児童生徒の交流 ・部活動交流や小学校行事等の応援
--	---	--

中期取組目標 ○学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、児童が主体的に課題解決する力を育みます。 ・1年目は、自分を大切に、自分らしさを発揮できるようにします。 ・2年目は、一人ひとりのよさを生かし、思いや願い、考えを伝え合うことができるようにします。 ・3年目は、互いのよさや違いを認め合い、自分の考えを深めることができるようにします。 ○まちの「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、まちを愛する心を育てます。 ・3年間を通して、一人ひとりが自己有用感をもち、楽しく学校生活が送れるようにします。
--

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①学習状況調査の分析や日々の学習の評価から児童の学習状況を把握し、分かる・できる授業づくりに向けた授業改善を行う。②授業研究テーマを「主体的に学びをつくる子どもの育成」とし、問題解決的な展開を工夫して、児童が主体的に学習に取り組めるようにする。
担当	研究・研修グループ	
徳	道徳教育	①道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて児童の道徳実践力を育む。②道徳科年間計画に沿った全学級の道徳科授業公開を年1回以上実施する。
担当	道徳部	
体	健康教育	①運動委員会による児童主体の取組を企画するなど、日常的に体力づくりに取り組む。②基本的な生活習慣の確立を目指し、栄養教諭や養護教諭と連携し、食育や健康教育を充実させる。
担当	体育部・保健部・食育部	
公	自分づくり教育 (キャリア教育)	①地域での体験活動やなかよし活動(異学年交流活動)など、他者との関わりの中で自分の思いを表現しながら自己有用感を高めることができるようにする。②「自分づくりパスポート」を活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりして、子ども自身の変容や成長を自己評価できるようにする。
担当	研究・研修グループ	
いじめへの対応		①年3回いじめ防止研修を実施して職員へのいじめに対するアンテナを高くするとともに、毎月の生活アンケート等により、いじめの早期発見・対応に努める。②月1回以上定期的にいじめ防止対策委員会を実施し、認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで、再発防止に努める。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①5年次以下の教員を中心にメンターチームを組織し、ミドルリーダーが講師となって月1回の活動を継続して行い、教師力の向上を図る。②ICTを活用した情報の共有化、事務の簡便化・効率化を図るとともに、職員室業務アシスタントを活用して働き方改革につなげる。
担当	教務部・メンターチーム	
地域学校協働活動		①学校・地域コーディネーターと連携し、保護者や地域人材の積極的かつ効果的な教育活動への参画を進める。②学校運営協議会を中心とした学校関係者評価の充実を図り、学校運営に生かす。
担当	教務部	
特別支援教育		①児童一人ひとりを大切に、ユニバーサルデザインの視点で教育環境を整える。②全職員で特別な支援を必要とする児童について共有し、児童のニーズに沿った指導を行う。③個別支援学級と一般学級、のびのび教室(特別支援教室)と一般学級との連携を密にして、有意義な交流を進める。
担当	支援・指導グループ	
児童生徒指導		①児童用「学校のきまり」と職員用「金小スタンダード」の見直しを行い、それを基に全職員が指導にあたる。②「Y-Pアセスメント」を活用するとともに、職員会議や打合せ、学年研等で情報共有を行い、全職員が連携しながら、多面的な児童理解と具体的な支援・指導を実践する。
担当	支援・指導グループ	
情報教育 GIGAスクール構想		①情報教育全体計画に沿って情報教育を行い、情報活用能力を育成する。②一人一台端末を効果的に活用し、個に応じた指導を工夫する。
担当	GIGAプロジェクトチーム	